



筑紫野市水道事業 開始 60周年

記念コラム「水道のこれから」

市の将来の水需要は、人口減少や節水型機器の普及により、以前ほど増加しない見込みです。

しかし、建設から約50年が経つ山口浄水場や、40年以上前に設置した水道管など、施設の老朽化は確実に進んでいます。

また、水道事業開始当初から運営している水呑ダムは、長年の使用で土砂が溜まり、貯水量が減少しています。

今後も安定的に水道事業を行うためには、今ある浄水場や水道管などを、将来の水需要を見据えながら、修繕や耐震化を進め、全体の施設を効率的に維持管理する必要があります。

また、災害などの非常時でも水を安定して供給できるよう、地域間で水をやり取りするための、貯水施設（配水池）を造るなどの新しい取り組みも検討する必要があります。

水道事業開始から60年が経ち、市ではこれからも新たな時代の水需要に対応し、安全安心な「みず」を市民の皆さんに提供できるように努めていきます。

● 問い合わせ先 上下水道料
金総務課（上下水道庁舎内）

☎ (0923) 71113

